

一般廃棄物・産業廃棄物処理施設維持管理記録簿 [管理型] (2022年10月度)

対象期間: 2022年 10月 1日 ~ 2022年 10月 31日

埋立廃棄物の種類及び数量[一般:規第4条の5の2 4号イ、産廃:規第12条の7の2 8号イ]

種 類		数量(単位)	
一般廃棄物	焼却灰	2,732.730	(t /月)
	ごみ	572.500	(t /月)
	特定一般廃棄物(焼却灰)	50.330	(t /月)
	特定一般廃棄物(ばいじん)	2,038.660	(t /月)
	一般廃棄物 小計	5,394.220	(t /月)
産業廃棄物	燃え殻	234.430	(t /月)
	汚泥	390.620	(t /月)
	廃プラスチック	697.910	(t /月)
	廃プラスチック(非飛散性)		(t /月)
	紙くず		(t /月)
	木くず	2.000	(t /月)
	繊維くず		(t /月)
	動植物性残さ		(t /月)
	金属くず	1.720	(t /月)
	金属くず(非飛散性)		(t /月)
	ガラス陶磁器くず	1,551.740	(t /月)
	ガラス陶磁器くず(非飛散性)	1.770	(t /月)
	ガラス陶磁器くず(水銀使用製品)		(t /月)
	鉱さい	53.980	(t /月)
	がれき類	927.620	(t /月)
	がれき類(非飛散性)	0.400	(t /月)
	動物の死体		(t /月)
	ばいじん	143.880	(t /月)
	処分するために処理したもの(13号廃棄物)		(t /月)
	廃石綿等(特別管理廃棄物)		(t /月)
特定産業廃棄物(燃え殻)		(t /月)	
特定産業廃棄物(ばいじん)		(t /月)	
産業廃棄物 小計	4,006.070	(t /月)	
合 計	9,400.290	(t /月)	

水質検査の実施状況と措置(月1回測定)[一般:規第4条の5の2 4号ニ及びホ、産廃:規第12条の7の2 8号ニ及びホ]

採取場所	地下水等		放流水
	下部調整池脇自噴井戸	シート下ドレーン水	別紙平面図の通り
採取日	2022年10月5日	2022年10月5日	2022年10月5日
分析結果が得られた日	2022年10月17日	2022年10月17日	2022年10月17日
電気伝導率	98.1 ms/m	106.3 ms/m	
塩化物イオン濃度	69.0 ppm	69.0 ppm	
水素イオン濃度			7.70 pH
生物学的酸素要求量			0.5未満 ppm
化学的酸素要求量			5.0 ppm
浮遊物質量			1未満 ppm
窒素含有量			2 ppm
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	
必要な措置を講じた日付けとその内容(異常が認められた場合記入すること)			

残余の埋立容量(年1回測定)[一般:規第4条の5の2 4号リ、産廃:規第12条の7の2 8号リ]

計測日	残余容量(m ³)
2022年 9月 28日	2,071,766.2

施設の点検[一般:規第4条の5の2 4号ロ、ハ、ヘ及びト、産廃:規第12条の7の2 8号ロ、ハ、ヘ及びト]

点検日	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
	2022年10月24日	2022年10月24日	2022年10月24日	2022年10月24日
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置が講じた年月日とその内容(異常が認められた場合のみ記入すること)	20年 月 日	20年 月 日	20年 月 日	20年 月 日

※ 保有水等の導水管、浸出液処理設備の配管の防凍の為の対策について、当施設は標高1000mに位置している。その為、冬季の気温低下を考慮し埋設配管にて設置している。 [一般:規第4条の5の2 4号チ、産廃:規第12条の7の2 8号チ]

水質検査の実施状況と措置(年1回測定)[一般:規第4条の5の2 4号ニ及びホ、産廃:規第12条の7の2 8号ニ及びホ]

採取日	地下水等		放流水
	20年 月 日	20年 月 日	20年 月 日
採取場所	下部調整池脇自噴井戸	シート下ドレーン水	別紙平面図の通り
分析結果が得られた日	20年 月 日	20年 月 日	20年 月 日
分析結果	計量証明の添付	計量証明の添付	計量証明の添付
異常の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	
必要な処置を講じた年月日とその内容(異常が認められた場合記入すること)			